かわさき医療的ケア児者等オープンネットワーク フォーラム2024

## 「医療的ケアの街・かわさき」をめざして

~それぞれのライフステージから見た川崎市の医療的ケア児者の生活と支援~



2021年9月、医療的ケア児支援法が施行され、医療的ケアがあっても「地域で暮らす」ために、安心して過ごせるような周囲の理解と体制づくりが求められています。 川崎においては「医療的ケア児・者等支援拠点」が2か所設置され、一元的、総合的な相談支援体制がスタートしました。医療的ケアがあっても地域で暮らしたいと願っている家族の想い、医療的ケア児者をとりまく課題を共有すること、さらには支援の経験を共有するために顔の見える関係性を大切にしながら、医療、福祉、教育、子育てなど分野横断的でオープンなネットワークを目指すため、フォーラムを企画しました。

2024.1.28(sun)

13:00~16:00 (受付開始12:30)

神奈川県立中原支援学校 体育館

お申込方法は裏面へ

#### 【プログラム】

開会・発起人挨拶 認定NPO法人療育ねつとわーく川崎 七川富美子

I 川崎の医療的ケアの歴史 重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎 施設長 江川 文誠

### 休 憩

Ⅲ 医療的ケア児・者等支援拠点の取り組み 川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター 企画・連携推進課 担当係長 小島久美子

~ライフステージごとの事例報告~

- Ⅲ 児童期 南部地域療育センター 保護者
- IV 学齢期 中原支援学校 保護者

休憩

- V 成人期 「i.care」 保護者
- VI 川崎市の医療的ケアの取り組み 川崎市健康福祉局 障害保健福祉部 障害計画課 課長 平井恭順

#### 閉会の挨拶

主催 認定NPO法人療育ねっとわーく川崎

協賛 NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会、川崎市重症心身障害児(者)を守る会、豊かな地域療育を 考える連絡会、医療的ケアおーぷんねっとわーく\*神奈川

後援 川崎市

かわさき医療的ケア児者等オープンネットワーク フォーラム2024

# 【お申込み方法について】

いずれかの方法で参加のお申込みをお願いします。

- ①右記QRコードを読み取り申込み
- ②事務局までメールかFAXで申込み(kawasaki.opennet@gmail.com)
- ・参加者のお名前
- ・参加者の所属(例:保護者、支援者、医療関係、教員、その他等)
- ・保育希望の有無
- ・保育希望の方はお子様のお名前と年齢、障害の有無、医療的ケアの有無を お知らせください
- ・ご連絡先(メール)
- ・ご連絡先(電話)※メールが届かない場合に使用します









保護者の方へ

## アンケートご協力のお願い

現在利用しているサービスや支援内容、困っていること、その他、生活で工夫していることや未来に向けて望む生活などについてお伺いします。 ご回答いただいた内容をもとに、医療的ケアがあっても地域で暮らしたいと願う 家族の想い、それを支える支援や取り組みを一つにまとめ「かわさき医療的ケア

### ※アンケート回答締め切り2024年2月末

児者SupportMook として冊子を発行します。

アンケート回答はこちら



SupportMookについては こちら





まにやかとしま

フォーラムお申込み アンケートについて お問合せはこちら

かわさき医療的ケア児者等オープンネットワーク(担当:小塚、七川)

TEL: 044-930-0160 FAX: 044-930-0128

MAIL: kawasaki.opennet@gmail.com

# かわさき医療的ケア児者 SupportMook

医療的ケアがあっても地域で暮らしたいと願っている家族の想い、それを支える様々な取り組みをひろく地域に知ってもらい、理解、共感、協力の輪を広げて行くこと。その一つのかたちとして、川崎の医療的ケア児者の生活や支援に関する情報をまとめ、「かわさき医療的ケア児者Support Mook」として冊子を発行します。

## ★冊子は無料で配布予定! ★HP(準備中)でも公開予定!

#### 「私たちの想い」

2021年9月、医療的ケア児支援法が施行され、医療と福祉の連携、さらには保育や教育との連携体制の強化が求められています。川崎においては「医療的ケア児・者等支援拠点」が2か所設置され、一元的、総合的な相談支援体制がスタートしました。医療的ケアがあっても「地域で暮らす」ために、安心して過ごせるような周囲の理解と体制づくりが求められています。

医療的ケア児者を取り<mark>巻く課題</mark>として、幼稚園や保育園、就学、送迎や移動、きょうだい児、児から者へ(子どもから大人への移行)、レスパイト、親なきあと、災害時の支援など、多くの課題があります。また、これらの課題はすべて医療、福祉、教育、子育てなどの分野をこえた協働が必要です。

そして、支援法ができる前から医療的ケア児者の支援は行われており、その経験や<mark>資源をいま</mark>いちど整理、共有す<mark>ること</mark>が必要だと感じています。このMookが川崎の医療的ケア児者支援の推進力になれたら、そんな思いを込めて。

#### 【Support Mook(仮題)のイメージ】

- ·B5サイズ、カラーI00ページ程度
- ・文章だけではなく、写真やイラスト、図などでわかりやすい紙面を目指します。

2025年2月頃完成予定



このMookについてのご質問、お問合せは下記までお願いいたします。

## 医療的ケア児者SupportMook 編集委員

かわさき医療的ケア児者等オープンネットワーク事務局 認定NPO法人療育ねっとわーく川崎 〒214-0014 多摩区登戸2981 044-930-0160 E-mail:kawasaki.opennet@gmail.com

